

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	観光課長 廣川 正
市民-04	重点事業	観光振興事業	■ 自治事務
	まち・ひと・しごと		□ 法定受託事務
		主管課	観光課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針
			観光都市としての質の向上

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・かまくらみどころ散歩や観光マップ等の充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。 ・外国人観光客の増加への対策として、外国語ガイドの育成を支援した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	9,809	9,166	当初予算(千円)	14,374
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	1,832	1,885	その他	3,044
	一般財源	7,977	7,281	一般財源	11,330
	人員配置数	1.3	1.3	人員配置数	1.3
			会計年度任用職員配置数	4.0	
事業経費運営	人件費(千円)	11,862	11,332	人件費(千円)	16,905
	総事業費(千円)	21,671	20,498	総事業費(千円)	31,279
	市民1人当りの経費(円)	123	116	市民1人当りの経費(円)	177
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済	
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉・文化の森、NPO法人JIAOLIU鎌倉、鎌倉ガイド協会、湘南バリアフリーツアーセンター	
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 観光情報の提供について、紙媒体の統廃合を含めた見直しの検討を行っていく。 コロナウイルス感染症の影響による、国内外からの観光客の減少に対する支援策等について、状況を注視しつつ検討を行い、事業を実施していく。
			事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	コロナウイルス感染症拡大前の事業の見直しを実施するとともに、今後、回復してくる観光客の動向を注視しつつ、事業を実施していく。予算規模については現状のまま事業を実施していく。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も引き続き自主財源の確保に努めるとともに、コロナウイルス感染症の終息後の観光による地域経済への支援策の実施や、延期されている東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした、外国人観光客の受け入れ体制の充実に向け、取り組みを進めていく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	街中における観光客等による迷惑行為に対する対策が必要である。車いす利用者等のための観光情報の提供が必要である。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	鎌倉市公共の場所におけるマナーの向上に関する条例の制定に併せて周知啓発用のチラシ等を作成し、商店会等で掲出を実施した。市民活動団体と協働で車いす利用者等が安心して観光するための観光ルートや施設の情報を掲載したバリアフリーマップを作成した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	延期している東京オリンピックの開催を契機とした外国人観光客の増加に対する受入環境の充実を図る必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成30年度)単位:千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	19,871	18,392	2,954	8,572	1,001	6,371	46,863	20,613	21,260

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村が行っている入込観光客数調査において、鎌倉市は県内で4番目であるが、面積は上位3市町よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和元年度(2019年度)数値調査件数:556件+2件(WEB)		
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0			
	実績値	79.2	79.5	76.9	78.9	88.1	87.1			
	達成率	93.2%	93.5%	90.5%	92.8%	103.6%	102.5%			

指標の内容	立ち寄り地点数 平均値(来訪者アンケート)					単位	地点	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
当該事業の実施により、観光客の分散化、観光需要の平準化、滞在時間の長時間化が図られているか確認するため。	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0			
	実績値	2.1	2.4	2.3	2.3	2.3	2.0			
	達成率	52.5%	60.0%	57.5%	57.5%	56.3%	50.0%			

指標の内容	鎌倉での滞在時間数 平均値(来訪者アンケート)					単位	時間	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
当該事業の実施により、滞在時間の長時間化が図られているか確認するため。	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	-	-	4.8	4.8	4.9	4.7			
	達成率	-	-	-	-	-	-			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	満足度については、目標値を達成しており、今後は立ち寄り地点数や滞在時間の拡充を図っていきたい。
-----------------------	---